

入居者様の想いを 汲み取るために

アクティブライフ豊中 石井はるか

も ・ く ・ じ

(1) 入居者様の基本情報

(2) 入居者様の状態とその取り組み I

(3) 取り組み I から得た新たな課題

(4) 入居者様の状態とその取り組み II

(5) 今後の取り組み

(1) 入居者様(N様)の基本情報

年齢等：女性 93歳 要介護度3

既往歴：アルツハイマー型認知症、脳梗塞、聴覚障害、骨粗鬆症

ADL： 日常生活 大きな声・厳しい言葉
食事 傾眠時・混乱時はスタッフの介助あり
排泄 希望時トイレ誘導
睡眠 眠れず端座位を繰り返し大きな声あり

(2) 入居者様の状態とその取り組み I

普段の様子

- ・「おい！」「ちょっと！」などの大声
- ・入居者やスタッフに対して「くそばばあ」などの言葉
- ・夜間なかなか入眠されない



(2) 入居者様の状態とその取り組み I

コミュニケーションが取れるように①

「ジェスチャー」

結果： ○ 単純な動きはうまく伝わった

× 具体的な内容を伝えづらい

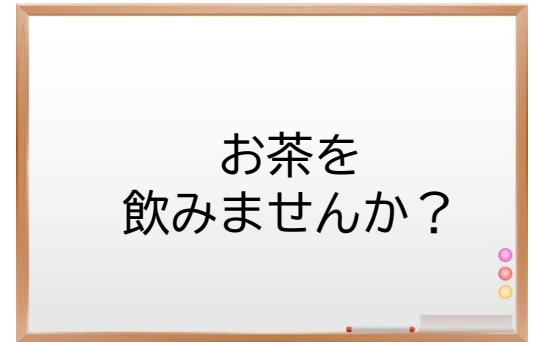
大丈夫です！



(2) 入居者様の状態とその取り組み I

コミュニケーションが取れるように②

「ホワイトボード」



結果： ○ 具体的に伝わった

× 瞬時に対応することが難しい

(2) 入居者様の状態とその取り組み I

コミュニケーションが取れるように③

「ラミネートカード」



結果： ○ 瞬時に取り出し伝わった

× 時間が経つとカバン等にしまう・折りたたむ

(3) 取り組み I から得た新たな課題

「ジェスチャー」「ホワイトボード」「ラミネートカード」

興奮状態であると意思疎通が困難



新たな課題

興奮状態をなくす

(3) 取り組み I から得た新たな課題

興奮される原因

- お腹が空いている？
- 排便が思うように出ていない？
- よく眠れていない？



➡ 日常生活の改善が必要

(4) 入居者様の状態とその取り組みⅡ

取り組み① 空腹時の苛立ちが和らぐように

- ・食間にお菓子を提供する

結果： ○ 不穏な気持ちが和らいだ



- ・少し低めの机を用意する

結果： ○ 毎食半量以上摂取できた

× 机を叩く、蹴る、動かす



(4) 入居者様の状態とその取り組みⅡ

取り組み② 規則正しい排便ができるように

- ・小さいコップを使用し水分摂取を促す

R2. 5月 脱水症状の疑い(600～700ml/日)
⇒小さいコップ使用(約1000ml/日)



結果: ○ ご自身で飲まれることがほとんどになり便秘予防になった
脱水症状の予防にも繋がった

(4) 入居者様の状態とその取り組みⅡ

取り組み③ 朝まで良眠できるように

- ・眠前薬の服用時間を変更する
(20時 ⇒ 22時)

結果： ○ 比較的朝まで良眠されるようになった

- ・便秘薬の服用時間を変更
(眠前 ⇒ 朝食後)

結果： ○ 日中に排便あり、夜間の良眠に繋がった



(4) 入居者様の状態とその取り組みⅡ

取り組みⅡのまとめ

【取り組み①】 食事 ⇒ お菓子が不穏な気持ちを和らげた
食事環境の変更で食事量が増えた

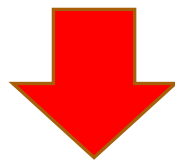
【取り組み②】 排便 ⇒ 水分摂取量の増加で排便と脱水
の予防ができた

【取り組み③】 睡眠 ⇒ 服用時間の変更で朝まで良眠

今後の取り組み

今までの取り組みを継続した上で

「家族写真」「手足マッサージ」「手浴・足浴」・・・



スタッフから積極的に
N様に寄り添う時間を増やす



ご清聴ありがとうございました